2. 都市・地域交通戦略推進協議会を開催しました

令和４年３月１日（火）に開催しました第２回都市・地域交通戦略（分倍河原駅周辺地区）推進協議会において、平成 30 年度に策定しました都市・地域交通戦略に掲げる施策の進捗報告等を行い、委員の皆様よりご意見をいただきました。

協議会の様子

第2回概要

●日　時：令和４年３月１日（火）午後３時～午後３時４０分
●場　所：市役所第２庁舎３階会議室
●出席者：１１名（学識経験者、国・都、交通事業者、まちづくり協議会の代表者ほか）
●傍聴者：３名
●主な議題：施策の進捗状況、令和３年度の取組ほか

【委員の主なご意見】

・国土交通省が「駅まち空間」という駅と駅周辺のまちづくりを一体的に考えていく方法をマニュアルで示しているが、その中でも地域の住民の意見を聞いて協働でまちづくりを進めることが書かれているので、参考にしてもらいたい。（委員）

・溜まり空間を整備するにあたり、まちづくりのさらなる気運醸成を行っていくには、どのようにするのか。（委員）

→地元の自治会長等で構成されたまちづくり協議会との意見交換やオープンハウスにて、地域の皆様の声をお聞きし、イメージ図のような分かりやすい情報発信をしていくとともに、まちづくりニュース等の媒体も利用しながら、機運醸成につなげていきたい。（事務局）

・溜まり空間は様々な人が使う場所であるため、できるだけ交通弱者の意見を聞けるように、オープンハウスなどで積極的に声を聞いてほしい。（委員）

・溜まり空間の整備に伴い、現在ある店舗が減ることにより、にぎわいが少なくなってしまうことを心配している。（委員）

→溜まり空間を活用した、にぎわいづくりを商店街の活性化につなげるため、地域の商店街のご意向をお聞きしながら、今後の取組を意見交換しながら進めていきたい。（事務局）

⇒第 2 回都市・地域交通戦略推進協議会の会議録と資料などは市の HP（下記参照）にて今後公開を予定しています。

ホームページもご覧ください

まちづくりニュースは、市のホームページでもご覧になることができます。
また、ホームページだけでなく、市役所地区整備課の窓口でも配布しています。

＜ホームページの開き方＞

１　インターネット上で府中市のホームページを開く。
　　府中市のホームページアドレス　http://www.city.fuchu.tokyo.jp/
２　トップページから「行政情報」の「施策・計画・審議会・協議会」の「施策・計画」を選択する。
３　「都市基盤分野」の「府中市まちづくり推進事業」を選択する。
４　「分倍河原駅周辺地区」を選択する。

発行・問合せ：**府中市都市整備部地区整備課**
〒183-0056　東京都府中市寿町 1-5　府中駅北第２庁舎
電話：042-335-4371（直通）
Mail：saikai01@city.fuchu.tokyo.jp

分倍河原駅周辺地区まちづくりニュース　第16号

令和4年3月発行

オープンハウスへのご来場ありがとうございました

日頃より、市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。今回のまちづくりニュースでは、１月２１日（金）と２２日（土）に開催しましたオープンハウスの概要、これまでの地区計画等検討会でいただいたご意見、３月１日（火）に開催しました都市・地域交通戦略推進協議会についてお知らせします。

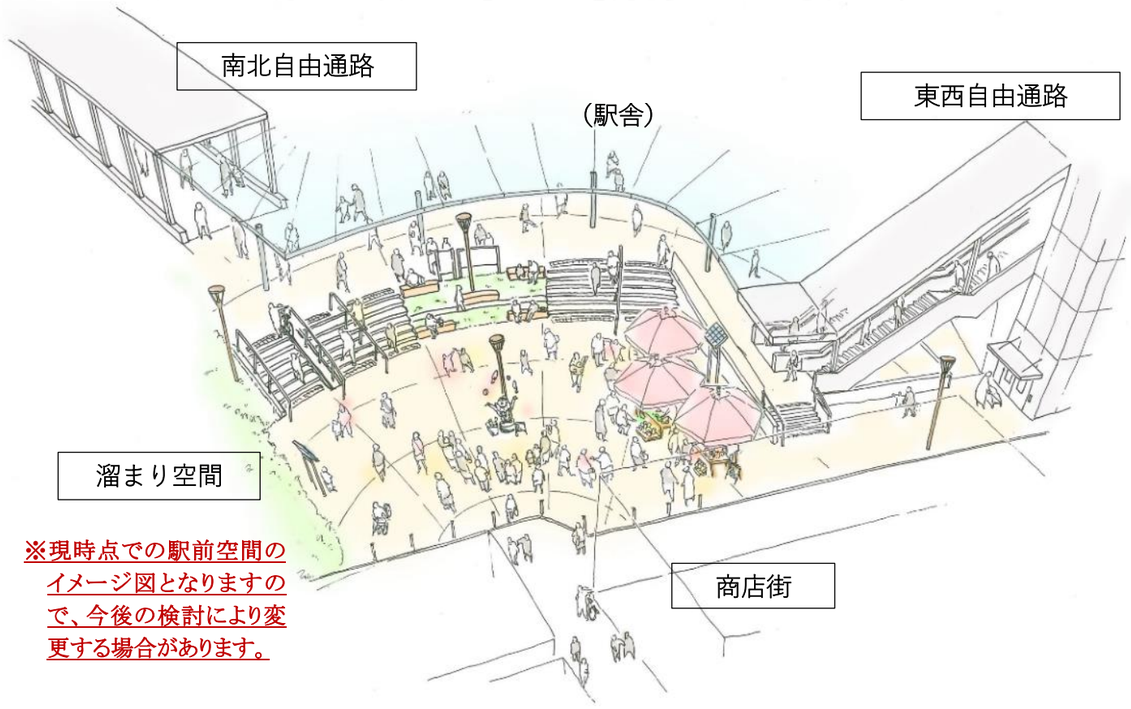
1. オープンハウスの概要

●日　時：令和４年１月２１日（金）、１月２２日（土）
●場　所：片町文化センター1 階ロビー
●来場者数：73 名

オープンハウスの様子

～駅前空間の整備イメージ図を公表しました～

駅前の空間を一体的に整備するにあたり、地域の方々とイメージを共有し、まちづくりのさらなる気運醸成を図るとともに、近接する商店街や住宅地の基盤整備後の在り方や、まちづくりのルールの検討などを進めるため、溜まり空間のイメージを公表しました。参加者からは、「イメージが分かって良かった」とのご意見を多くいただきました。



※現時点での駅前空間のイメージ図となりますので、今後の検討により変更する場合があります。

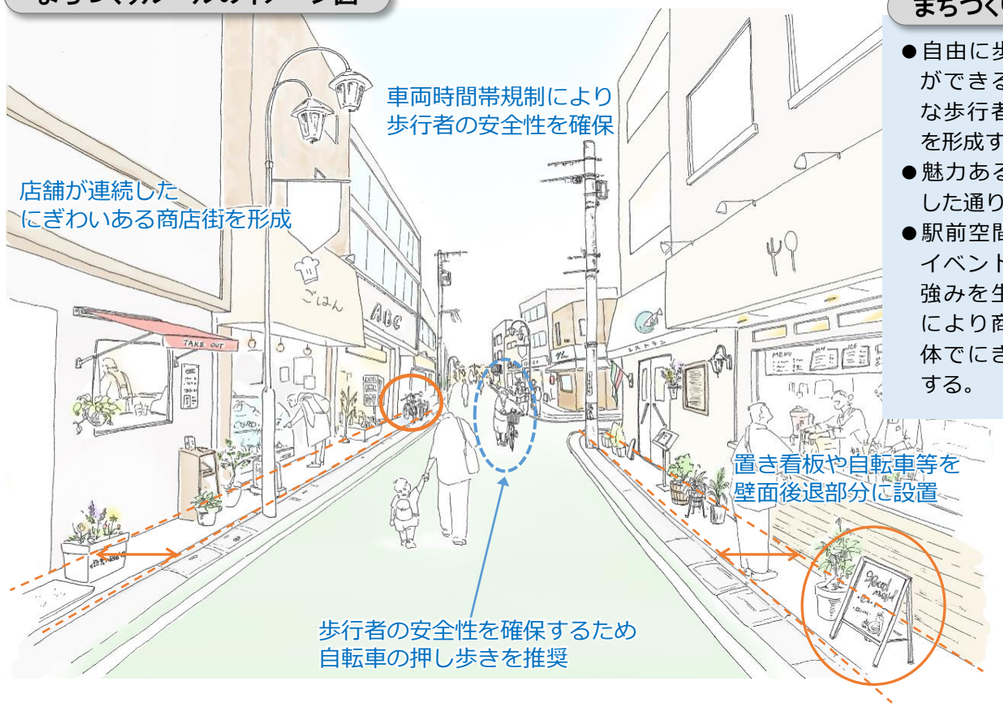
～まちづくりルールについてご意見をいただきました～

商店街区域

まちづくりの目標

駅から商店街にかけて歩行者が気持ちよく安全に歩くことができ、魅力ある店舗が集積したにぎわいある商店街を形成する。

まちづくりルールのイメージ図



まちづくりの方針

- 自由に歩いて買い物ができる安全で快適な歩行者中心の通りを形成する。
- 魅力ある店舗が集積した通りを形成する。
- 駅前空間を活用したイベントや各店舗が強みを生かした取組により商店街区域全体でにぎわいを創出する。

地区計画等検討会でいただいた主なご意見

- 歩きたくなる道となるよう商店街のイメージアップが大切。
- ファミリー層も利用でき、サラリーマンが気楽に入れる多様性のある店が多いと良い。
- ルールの検討より、駅前の整備についての説明が欲しい、周知も足りていない。
- 自動車の進入を制限し、自由に歩いて買い物ができる空間としてはどうか。
- 現在、道路上にはみ出している看板や自転車をどうにかできないか。
- セットバックは建替えの際に行うことなので、実現には時間がかかる。
- セットバックは何のためにするのかを話し合う必要がある。
- 自転車の押し歩きの検討より先に車の通行をどうするのか検討すべきである。

オープンハウスでいただいた主なご意見

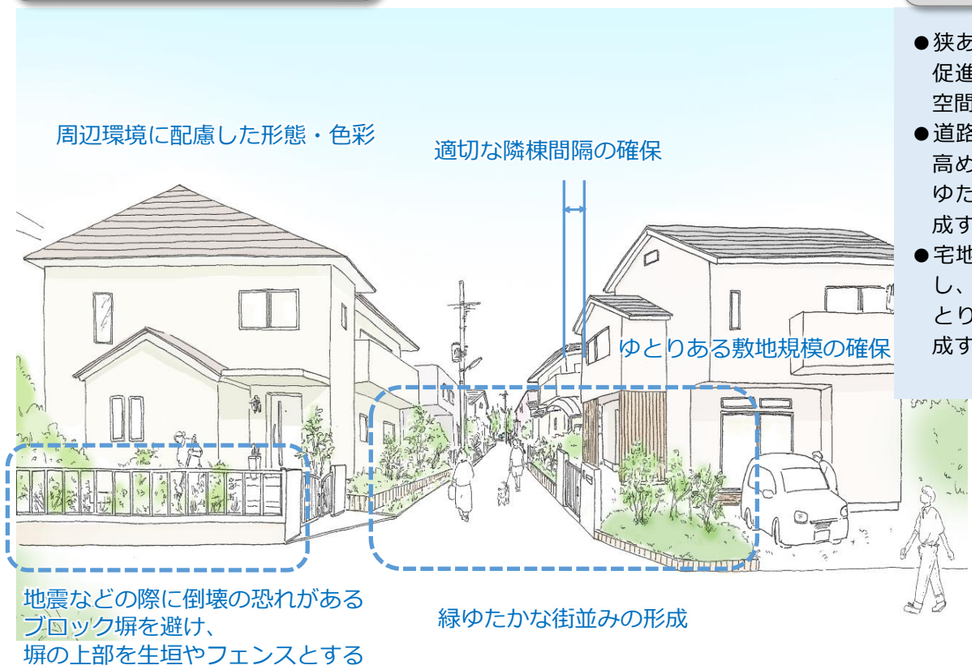
- 商店街で営業を続けるには、飲食店でないと難しいのではないか。
- 店同士で連携して何か催しなどができると良い。気の合う店の人同士で交流して話をしている。
- 安全に買い物をしたい。
- 荷捌きの車が危ない。
- 自動車の時間帯規制をぜひ実現してほしい。
- 車両の時間帯規制は商売している人達が大変ではないか。
- セットバックの実現は難しい。権利者が納得しないのではないか。
- セットバックは良い。看板のはみ出しが危ない。
- 自転車の通行を制限してほしい。
- 自転車押し歩きは実現性があると思う。
- 自転車の押し歩きは大変そうである。

北西側住宅区域

まちづくりの目標

災害に配慮した動線の確保とゆとりある居住環境を保全する。

まちづくりルールのイメージ図



まちづくりの方針

- 狭あい道路の整備を促進し、安全な道路空間を確保する。
- 道路沿いの安全性を高めるとともに、緑ゆたかな街並みを形成する。
- 宅地の細分化を防止し、緑と調和したゆとりある住宅地を形成する。

地区計画等検討会でいただいた主なご意見

- 道路が整備されることで車のスピードが上がることがないように対策してほしい。
- 生垣、フェンス、建物の色をルール化しても良いと思う。
- 地震に弱いブロック塀は制限したい。
- 敷地の細分化の防止は当然あって良いが、強制力がない限り細分化されてしまう。
- 災害に強いまちづくりが必要である。
- 防災の面だけでなく、歴史など様々な観点からまちづくりを考えられると良い。
- 昔に比べ自然が少なくなってきている。
- 良好な住環境を保つ必要がある。

オープンハウスでいただいた主なご意見

- 周辺環境に配慮した色彩のルールは良いと思う。
- 緊急車両が通れない。道路が狭く、すれ違うのが難しい。
- ゆとりのある住環境が良い。
- 危険なブロック塀については、なくしてほしい。
- 生垣はペットが糞をしやすくなるため心配。
- 自宅は市の助成金でブロック塀を撤去した。若い人にも緑が豊かで、安全な家にしてほしい。
- まちの緑は現状でも満足している。
- 家と家の間の空間を確保してほしい。
- 敷地の細分化防止は相続を考えると難しいかもしれない。
- ルールとして実施するのが難しいものは、市からはっきり難しいと市民に伝える必要がある。